

JAしまねびより

2017

5

May Vol.14

特集 島根のいいもの再発見!! 「スナップエンドウ」 島根おおち地区本部

来月の
外勤日は

6月17日(土)



江の川に泳ぐ鯉のぼり

島根には誇れる農産品がたーっくさん！
島根のいいもの再発見!!
 直撃・生産者インタビュー



東西に長く広がり、海も山もある自然環境豊かな島根県。島根には、胸を張って誇れる農産品が実は多種多様にあるんです。毎月、その農産品を紹介、生産者の生の声を聞いていきます！

【スナップエンドウ】

5月は島根おち地区本部。江津市桜江町でスナップエンドウを生産する、佐々木啓裕よしひろさんにお話をお伺いしました。



いつからスナップエンドウを栽培しておられますか？

今年で2年目になります。祖父が長年、サヤエンドウを栽培しているなど、小さい頃から農業の手伝いや自然と触れる環境がありました。就農してからは、スナップエンドウの他に、スイートコーン、ごぼう、人参、広島菜、なすを8反から1町の規模にて一人で作っています。サヤエンドウに比べスナップエンドウは比較的価格が安定しており、収量と単価を考慮し野菜の少ない時期に栽培できるスナップエンドウ栽培を始めています。



スナップエンドウはどのように栽培するのですか？

ツル性なので畑に竹の支柱を立て約2mの高さでネットを畑に張ります。スナップエンドウは病害虫や雑草等に強いほうではないので、土はマルチで覆って12月に種を播き、5センチ程度まで芽が伸びた状態で越冬させます。寒さに当てると丈夫で大きな花芽がたくさん付きます。4月中旬に下のほうから花芽が付いた後に豆サヤができ、下旬から順々に収穫、5月までの1カ月で集中して出荷します。昨年は全部で約500kg、主に広島市場に出荷しました。





日々の管理としては、肥料切れを起さないようにするのと、雨が長く降らない時には灌水（かんすい）をする事です。ある日突然、枯れているという事があるので、毎日

日々の管理や大変なこと などありますか？



注意深く観察しています。一番大変な時期は収穫です。手で全部のスナップエンドウを摘み取っていかなければならず、時間と手間を取る作業です。収穫は労力のいる作業ですが、収量よりも規格に見合ったモノがしつかり出来ていけば嬉しい限りです。また、スナップエンドウは連作障害になりやすい野菜です。同じ場所で作ることが難しいので、6年から7年のサイクルで数種類の野菜を輪作しています。

農業従事者の高齢化が進む中、就農された感想はいかがですか？

夏に人参やナス、ゴボウなどを育て、秋には広島菜、12月に人参やごぼうの収穫の時期に合わせてスナップエンドウを定植させ、1年間切れ目なく野菜を育てています。どのような栽培計画で輪作すれば長期間収穫ができて、一人で無理のない作業ができるか、また収量を確保できるかを自分自身で考えるのは、楽しくやがいを感ずります。

スナップエンドウ 一口メモ

スナップエンドウはアメリカで作られた品種で、グリーンピースの豆の甘みと、サヤエンドウのシャキシャキ感を一緒に味わえるのが特徴。ビタミンCやカリウム、ベータカロチン、カルシウムなど、栄養価高いバランスのよい野菜の一つ。サヤごと食べれるので、食物繊維もしっかり摂ることができる。鮮やかな緑色が、料理に彩りを加え、また熟してもサヤが固いので、茹でたスナップエンドウをマヨネーズなどの調味料を付けて食べたり、炒め物に入れるのが美味しく、広く親しまれている。



最後に、今後の抱負を聞かせてください。

桜江町では昔から比較的単価が高く、冬から春にかけて



負担なく栽培できるスナップエンドウを栽培している方が多くいらっしやいましたが、担い手不足等により、今では5、6人程度しか栽培していません。今後の目標としては、積極的に栽培面積を広げ、4年後にスナップエンドウを1反の規模で栽培したいと考えています。



雲南

水稲防除の負担軽減に向けて

雲南地区本部と雲南農協青年連盟(農青連)は3月末、ドローン(小型無人飛行機)の管理委託契約の調印式を行いました。ドローンでの防除システムを確立し、水稲等の病害虫防除の負担軽減が期待されます。

デモ飛行では、オペレーターが操縦機から手を放しても衛星利用測位システム(GPS)機能で姿勢を維持することなどを確かめました。ワンタッチで着脱できるユニットにより液剤散布装置と粒剤散布装置を簡単に交換でき、液剤8ℓ、粒剤6kgを散布できます。

同地区本部加藤博樹本部長は「地域振興の一環として今回のドローン防除を広めて欲しい。地域の農業を守るためにも農青連には期待をしている」と話し、農青連坪倉誠委員長は「ヘリコプターでは適さないような所でも、このドローンがあれば散布できる。農青連の取り組みをドローンと共に飛び上がらせたい」と力強く語りました。



⑤加藤本部長からドローンを操作するプロボを受取る④坪倉委員長と⑥石原公夫副委員長

隠岐

TACキックオフ大会を開催

隠岐地区本部と隠岐どうぜん地区本部は4月24日、農家組合員の多様なニーズに迅速・的確に対応し、農業所得の増大やサービス向上を図ることを目的に、TACキックオフ大会を開催しました。

TAC(タック)とは、地域農業の担い手に向くJA担当者のごことで、今回新たに両地区本部の2人がTACとなり、JAしまね全体で24人の体制ができました。

隠岐支庁6F会議室で開催した同大会では、はじめに本店事務局からTACの全国情勢や活動の目的、TACシステムについて説明し、質疑応答では、両地区本部での目指すべきTACの姿について活発な意見交換がなされました。

その後、28年度活動報告、29年度活動計画についても協議し、最後に島根県農林水産部より島根和牛の現状について情報提供を受け終了しました。

今後、島内担い手農家、畜産農家等への訪問活動を通じ、多様なニーズに応え、より一層組合員の所得増大、サービス向上に繋がるよう取り組んでまいります。



くにびき

沖縄で販売促進

島根県産米「つや姫」大人気!!

島根県産米「つや姫」の認知度向上と販路拡大を目的に、JAしまねと米卸業者などが4月1日・2日、イオン琉球の那覇店と南風原店で、試食販売を行いました。

米の生産量が少ない沖縄県本島では、沖縄県内の卸売業者が全国各地の米を販売しています。

JAしまねではこれまでに12回、イオン琉球で試食販売を実施。その結果、県内産「つや姫」に対する支持を得て、固定客が増加し、毎月イオン琉球で売上トップの人気商品に成長しました。

今回、くにびき地区本部から田中鈴夫副本部長をはじめ営農経済部の職員が参加し、対面販売でアピール。2日間で、目標の600袋(5kg入り)を大きく上回る650袋を販売しました。

同行した米穀畜産課恩田直幸係長は「沖縄県での支持率は高く、好評を得ている。今後も安定供給が図れるよう、販売促進に取り組みたい」と熱く語りました。



やすぎ

カレーにイチゴ?!

「いちごカレー」を新発売

やすぎ地区本部は4月15日、特産のイチゴを使ったレトルトカレー「あらえっさいちごカレー」の販売を開始しました。甘酸っぱいイチゴと相性の良い県内産の豚肉を使用したフルーティーなカレーで、特産のイチゴのPRと更なる消費拡大を目指しています。

今回は主力品種である「紅ほっぺ」のペーストをカレーに使用。同地区本部は、栽培生産の過程で生じる規格外品を活用するため、市内の福祉施設にイチゴのペースト加工を委託し、市内外の食品製造事業者と連携して、このペーストを使用したイチゴの加工品の商品化に力を入れています。

JAの担当者は「いちごカレーを通じて安来のイチゴを知ってもらおうきっかけにしたい」と話しました。価格は一箱200g入り580円(税込)で、市内3か所のJA農産物直売所で販売しています。



JAの総合力で生活支援

斐川地区本部は4月14日、荘原支店入り口で、ガス住宅課職員による「ライフサポート24」のPR活動を行いました。

同地区本部は、高齢者を支援するために㈱セーフティネクストが開発した緊急通報システム「ライフサポート24」を導入して1年を迎えます。

このシステムは、赤色の非常用ボタンを押すと警備会社「ALSOK山陰」が対応し、白色の生活支援ボタンを押すと同地区本部にメールが入り担当者が電話で対応します。食品や日用品の買い物代行、水漏れ電化製品のトラブルなどさまざまな要望に応じ、内容によっては職員が自宅を訪問し、専門的な技術が必要な場合は無料で業者を紹介します。

現在斐川町の約110世帯が加入しており、これまでは、大風で壊れた雨どいの修理や買い物代行などの依頼を受け早急に対応することで喜ばれています。

来店者からは「日中は一人になることが多く、将来的にこういったサービスが増えていくとうれしい」という声もありました。



説明をする担当職員

交通安全を願って 春の街頭指導を実施

隠岐どうぜん地区本部はこのほど、春の交通安全運動の一環として街頭指導を行い、管内住民に交通安全を呼びかけました。

島根県では、「広げよう 事故ゼロしまねの おもいやり」をスローガンに、高齢者の交通事故防止・子供の交通事故防止・飲酒運転の根絶など5項目を重点運動として、4月6日から15日までの10日間、交通安全運動が実施されました。

これにあわせ、同地区本部では、西ノ島町と海士町内にテントを設置し、地元保育園児や保護者、交通安全対策会議委員らと一緒に交通安全のパンフレット等を運転者や通行者に配布しました。

また、4月15日に浦郷警察署が知夫村ふれあい広場で開催した「知夫村交通安全グランドゴルフ大会」に夜光反射材・シールを参加賞として提供し、交通安全を呼びかけました。



JA職員がひな人形に扮する

石見銀山地区本部の職員が3月25日、大田市大森町で開かれた「春うららひなまつり」に参加し、ひな人形に扮しました。おひなさまやお内裏様、三人官女に扮して、「おひなさま行列」を来場者の前で披露。「すごくきれいで、とても華やか」と評判を呼びました。

まつりは、同市大田町の大田商工会議所女性会が開催。これまでは同会議所を会場にしていたが、7月に「石見銀山遺跡とその文化的景観」が世界遺産登録10周年を迎えるため、大森町の町並みに会場を変更しました。訪れた人はひな飾りの展示や茶席、等身大おひなさまとの撮影会を楽しみました。

出演したのは宅和麻衣子さん、西村春美さん、福岡悠生さん、山下里穂さん、若槻ゆうさん。貴重な経験をした5人は「長時間静止するのが辛かったが、とても楽しかった」「化粧を初めてしてもらった。一生の思い出になった」と話していました。



JA職員による等身大のおひなさまたち

シーズン到来！ ラピタビアガーデン オープン！

出雲地区本部では毎年恒例となっている「ラピタビアガーデン」の営業を4月14日、ラピタ本店屋上で開始しました。小さなお子様から年配の方まで幅広く楽しんでもらえる交流の場となることを目的に開催し、今年で23年目を迎えます。

初日は仕事帰りの方を中心に約200人が来場。オープニングセレモニーでは、JAしまね出雲女性部北浜支部の「かもめ教室」が踊りを披露したほか、ライブや紅白もちまきなどの催しもあり、オープンに花を添えました。

ビアガーデンは9月30日までの期間中、午後5時半から午後9時まで毎日営業します。常時60種類の料理を準備し、バイキング方式で飲み放題、食べ放題となっています。今年最後の金曜日は3時半から開場し、5時までに入場すると1,500円で2時間飲食ができる「プレミアムフライデー」を新たに企画しました。季節に合わせた料理や楽しんでいただける企画、お得な企画を多数用意し、皆様のご来場を心よりお待ちしております。



ご予約・お問い合わせは
生活部プライダル課 TEL0853-21-6063まで。
(お問い合わせ時間/9:30~20:00)

西いわみ

JA女子大生が 煎茶の入れ方を学ぶ

西いわみ地区本部は4月5日、JA女子大学第9回目の講義として「煎茶の入れ方教室」を開きました。

益田市元町の益田市立市民学習センターで行った教室では、学生10人とそのお子さん7人が出席。松月流島根西支部の松崎幸代先生をお招きし、「おいしい煎茶の入れ方」と「来客の際の対応」などを主に学習しました。松崎先生からは、煎茶の入れ方だけでなく、煎茶を家庭で楽しむことで、家族と穏やかな時間を作ることが大切だということも教えていただきました。

参加者は「普段、お茶を飲むというと水分補給としてしか認識がなかったが、今回参加してお茶を楽しむということを学んだ」「春休み期間中ということもあり、子どもと一緒に参加できて楽しく学べた」と話しました。

次回は6月に益田市飯田町のJA多品目選果施設を見学する予定です。



島根おおち

29年度島根おおち女性部 総会を開催

島根おおち女性部は4月5日、邑智郡邑南町の矢上交流センターで第22回通常総会を開き、28年度の活動報告と29年度の活動計画の報告を行ないました。

29年度計画では、食と農・地産地消運動の促進、地元農産物の消費拡大のため地域に対する情報発信の促進を目指しており、青年連盟との連携を強化して、管内保育園児と行うカレーの日や芋ほり交流会などを行なうふれあい農園の開催、ケイトウ栽培のさらなる拡大に向けた活動の展開を目指します。

総会前には、28年度ケイトウ栽培の優良生産者表彰を行ない、羽須美支部・今田宮農女性部・石見支部・川角和子氏・谷口順江氏の3団体・2個人を表彰しました。

寺内洋子部長は「28年度は食農教育や6年目を迎えたケイトウ栽培を通じ部員の絆・交流を深めてきた。ケイトウ栽培も地区本部を超えた広がりを見せている。29年度においてもたくさんの活動・交流を通じ女性部を盛り上げていきたい」と話しました。



本店

第11回全国和牛能力共進会に向け 島根県決起大会を開催

第11回全国和牛能力共進会島根県出品対策本部は3月22日、出雲市の島根ワイナリーで第11回全国和牛能力共進会島根県決起大会を開催しました。

この決起大会は、今年9月7日から10日に宮城県仙台市で開催される同共進会に向けて開催したもので、今回の全共キャラクターである「牛政宗くん（うしまさむねくん）」をゲストで招き宮城県の紹介をいただくとともに、島根県生産者代表の和泉英富さんが決意表明を行い、全共への意気込みを再確認しました。

また、同共進会に向けて島根県応援キャラクターの公募を行い、多数の応募の中から松江農林高等学校の犬山樹里さんの作品「しま牛くん（しまうしくん）」を最優秀賞に選び、表彰しました。「しま牛くん」は、県代表ユニフォームをはじめ様々な場面で登場しますので、よろしくお願いいたします。



島根県応援キャラクター
「しま牛くん」



キャラクターを作成した犬山さん



決意表明する和泉さん

いわみ中央

浜田柿加工場が竣工

いわみ中央地区本部は4月5日、浜田柿加工場の竣工式を行いました。来賓に島根県農林水産部の長野正巳課長や久保田章市長をはじめとして多くの関係各位を招きテープカットを行いました。

この施設は、JA統合を機に、生産者からの発案により統一規格を検討してきたもので、統合メリットを生かし、旧JA枠を超えて西条柿を受け入れ、貯蔵施設などの広域利用を進める事で増産に結び付け、新たな販路開拓にもつなげる期待をもって新設しました。

井上宗治地区本部長は、「JA統合により、硫黄燻蒸を施さないあんぼ柿の統一ブランド化計画を進め、国の「平成28年度産地パワーアップ事業」と浜田市の「農業拠点施設整備事業補助金」のご支援で完成をみた。この施設を西部の拠点施設として位置づけ、30万個の生産を目標に、所得向上と生産拡大を図りながら、今以上に西条柿の産地化の推進と地域農業の発展に努めていきたい」とあいさつしました。



ご案内

平成
29年度

「JAしまね農業振興支援事業」

組合員の皆さまの農業所得の増大、農業生産の拡大の実現に向けて、以下のとおり「JAしまね農業振興支援事業」を実施します。

国や県、市町村と連携して島根農業および農村の活性化に向けた取り組みを強化するとともに、新規就農者の確保育成に努めます。



1. 事業内容

- (1) 魅力ある産地づくり支援事業
- (2) 島根農業モデル対策支援事業
- (3) 元気な地域づくり支援事業
- (4) 担い手と新規就農者（Uターン者を含む）に対する支援
- (5) 担い手の継続営農に向けた巡回人間ドックの受診支援

2. 申請方法

事業の詳細及び申請手続き等は、各地区本部の営農担当部署にお問い合わせください。

ご案内

平成
29年度

地域貢献・地域活性化支援事業

地域の歴史・自然・文化等を活かした『地域力』発揮による「元気な地域づくり」を支援するために、以下のとおり「地域貢献・地域活性化支援事業」を実施します。

地域貢献・地域活性化に取り組むグループ・団体等の多様な取り組みを表彰、普及支援することにより『地域力』の向上を支援し、島根県内の地域活性化に努めます。

1. 事業内容

- (1) 地域活性化に取り組むグループ・団体等の表彰
- (2) 地域活性化のための活動を普及、維持・拡大または開始するための資金支援

2. 予算総額（支援総額）

700万円

3. 募集期間

平成29年5月15日(月)～7月31日(月)まで

4. 申請方法

お住まいの地区本部へ申請ください。

事業の詳細は、地区本部のくらしの活動担当部署にお問い合わせいただくか、JAしまねのホームページ (<http://ja-shimane.jp/>) でご確認ください。





高温好みで 乾燥を嫌う、 サトイモ作り のポイント

板木技術士事務所 ● 板木利隆

山で採れる山芋に対し、人の住む里にできることからサトイモの名があり。原産はマレー半島付近の熱帯の多湿地。日本には中国を経て渡来、稲作以前は日本の主食であったとされる野菜の大先輩です。

主成分はでんぷん質。加熱すると糊化（こか）し消化吸収しやすくなり、カリウムが豊富に含まれ、意外に低カロリー。体脂肪や生活習慣病が気になる人にもお薦めです。

親芋が中心にあり、子芋、孫芋がその周りに付くサトイモには、通常子芋、孫芋を食べる子芋用と親芋を食べる親芋用、葉柄を食べる葉柄用があります。

通常は子芋用の「土垂」や「石川早生」などを選びますが、好みによって親芋用の「京いも」や親子兼用の「八つ頭」、葉柄用の「蓮芋」なども用います。

サトイモは連作障害が出やすい野菜なので、少なくとも3~4年作ったことのない場所を選んで栽培しましょう。

高温性で生育適温は25~30度、植え付けは十分に地温が上がってから、植え付けの深さは7~8cm。植え付けたら畝上にポリマルチをし、地温の上昇を図ります。

マルチの下で、芽が伸び始めたら遅れずにフィルムを破り芽を上へのぞかせます。

芽が勢い良く伸びだしたら、太い芽1本だけを伸ばし、小さな芽は早いうちにかき取ります。土寄せ前なら芽を倒して土で埋めてしまうのも良い方法です。

本葉が5~6枚になった頃、畝の通路側に肥料（1株当たり油かす大さじ3、化成肥料大さじ2が目安）をばらまいて、土と混ぜ合わせながら株元に土寄せをします。

マルチフィルムは片寄せして作業し、再び覆います。土寄せの

厚さは4~5cm程度にし、2~3週間置きに3回ほど行います。第2、3回の土寄せの前にも第1回同様に追肥しますが、葉が茂り過ぎなら肥料は控えめにしてください。第3回はマルチを除去して作業します。あまり遅くまでマルチをしておくと高温と乾燥のために芽つぶれやひび割れなど、子芋の障害の原因になるので注意します。

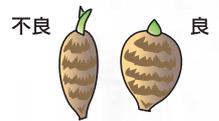
サトイモは日照り不作といわれるほどに、夏の乾燥には弱いです。降雨が少なく、土が乾き過ぎるようでしたら灌水（かんすい）を心掛けます。

例年乾きが激しい畑には作付けしない方が良いでしょう。

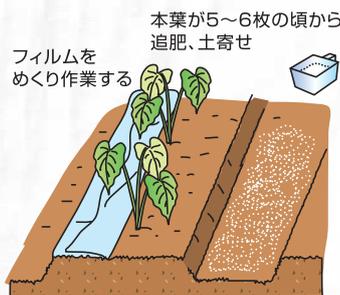
※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。



肥料を埋めるように通路の土を株元に寄せる

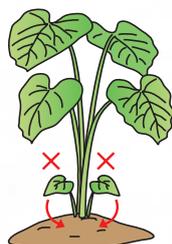


芽かき、土寄せが足りないと細長い不良品が多くなる



本葉が5~6枚の頃から追肥、土寄せ

フィルムをめぐり作業する



脇芽を取り除くか埋める

順調な育ち
花の上方に数枚の葉が付いている



健全花(長花柱花)



栄養不良の育ち
花が先端近くに付いている



不良花(短花柱花)



栄養不良になったら思い切って若取りする

【訂正とお詫び】
4月号のイラストに誤りがございました。訂正済みイラストを掲載するとともにお詫び申し上げます。

タテのカギ



- ①井戸などでくみ上げて使います
- ④土を小高く盛り上げたもの
- ⑥人がたくさん住んでいます
- ⑦車に乗って出掛けます
- ⑨孫悟空の乗り物です
- ⑪中国の——に由来することわざは多い
- ⑫まき割りや枝打ちに使う刃物
- ⑮東南アジアの国。首都はクアラルンプール
- ⑰人を怒らせることを「——に触れる」ともいいます
- ⑲インドから伝わる心身調整法
- ⑳太陽や星がよく見える天候
- ㉑台所ですることの一つ

ヨコのカギ



- ①端午の節句に食べます
- ②映画の撮影時にカチンと鳴らします
- ③人事——で所属部署が変わった
- ④二つで1組のものを数えるときに使う言葉
- ⑤初節句に——飾りとこいのぼりを用意した
- ⑧野球の走者のこと
- ⑩家を留守にする際は忘れずに
- ⑬袖振り合うも——の縁
- ⑭チョウの仲間。カラス、アオスジといえ
- ⑯ボルトやナットを回す工具
- ⑰すし屋の符丁で茶のこと
- ⑲布地を裁断した物

二重マスの文字を A ~ F の順に並べてできる言葉は何でしょうか？

1	6	9		14	18	21
2			11		19	
			10	15		
3	7			16		22
	8		12			
4			13		20	
5				17		

答え

A	B	C	D	E	F
---	---	---	---	---	---

応募要項

- 応募方法 ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。
- 賞品 正解者の中から抽選で地区本部毎に5名の方に「JA商品券」をお贈りします。
- 当選者発表 賞品の発送をもってかえさせていただきます。
- 宛先・締切 〒693-8585 出雲市今市町106-1
JAしまね 出雲地区本部 情報システム課 「クイズ」係
平成29年6月5日（月）（当日消印有効）

◆先月号の答え◆
「ランドセル」

ホ	タ	ル	イ	カ	チ
ヨ	ビ	キ	ソ	ド	
チ	リ	ア	オ	ノ	リ
ヤ	マ	ン	キ	ア	
ク	レ	ナ	イ	ハ	シ
セ	イ	イ	バ	ー	
キ	タ	カ	ラ	ブ	ネ

・お預かりした個人情報、プレゼントの抽選・発送以外の目的で利用することはございません。

けんこうさんぽ
健康散歩
JA島根厚生連

サルコペニアを予防しよう

皆さん「サルコペニア」という言葉をご存知ですか。人間誰しも、年齢を重ねると身体機能が衰えていきます。なかでも、骨、関節、筋肉の部位になんらかの支障をきたして運動障害がひき起こされる状態を「ロコモティブシンドローム」といい、特に著しく筋肉量が減少してしまいう状態を「サルコペニア」といいます。このような状態は歩行障害や転倒といった要支援・要介護のきっかけとなるため、豊かな日常生活をおくるためには予防対策が非常に重要となります。

サルコペニアは、「歩く速度」、「握力」、「筋肉量」などを測定して診断します。これを自分で調べる場合、「①歩くのが遅くなった。（横断歩道を青信号のうちに渡りきれない）」、「②手すりにつかまらないうち階段を上がれない」、「③ペットボトルのキャップが開けにくくなった」、「④重いものを持ち上げられない」などの項目が判断の目安となります。

サルコペニアの予防は、食事と運動の改善が必要です。食事は筋肉を作るのに欠かせない「たんぱく質」、「ビタミンD」、「アミノ酸」などの栄養素を摂ることが重要です。まぐろやかつおなど赤身の魚、レバーなど赤身の肉、卵、大豆製品、乳製品などがオススメです。運動は、筋力トレーニングで筋肉量を維持・増加させることが重要です。腕立て伏せや腹筋・背筋などができれば理想的です。しかし、なかなか難しいという方は、つま先立ちや片足立ちであったり、椅子に座った状態でのつま先上げ・かかと上げなど、少しの時間でも日常生活のなかでこまめに行うことが大切です。筋肉は加齢に伴って減る反面、運動や食事の工夫次第で高齢になっても増やすことができます。皆さんもこれを機会に見直してみてもいかがでしょうか。



5月は



安全・安心届けます

出雲で採れるうまいもん

「きゅうり」



JAしまね出雲きゅうり部会
衣笠 久志さん

生産者インタビュー

今月は神西沖町で、きゅうり10aの他、トマトなどを栽培しているJAしまね出雲きゅうり部会の衣笠久志さんにお話を伺いました！

——就農のきっかけはなんでしたか？

海外を1年間旅していた時期があり、そのときの経験から食えることの有難さを実感し、食に関わる仕事がしたいと考えるようになりました。帰国後は農業とは別の仕事をしていましたが、農家で働かせていただく機会があったのをきっかけに、改めて農業をしたいという気持ちになりました。農林大学校で勉強した後就職し、今年で3年目になります。ハウスできゅうりを栽培したのは昨年の春が最初で、秋作を経て、この春で3作目ですね。

——きゅうり栽培の良い面はどんなところですか？

きゅうりは毎日収穫ができ、共同選果の仕組みの中で出荷しただけ収入になるところは魅力的です。安定収入に繋がることは農家にとって大事なことです。病気に弱

く、しっかりと管理しないとイケませんが、手をかければ良いきゅうりをたくさん取ることが出来ます。難しい分、育てがいのある作物だと感じています。

——きゅうりを栽培されていかがですか？

昨年は防除がうまくいかず失敗するなど、きゅうり作りの難しさを実感する年となりました。市場で情報交換をしたり、他の部会員に聞いたりしながら試行錯誤しています。栽培管理には特に気を遣っており、栽培記録の徹底はもちろん、現場に設置したホワイトボードに農薬を使用する都度記録し、一目で分かるようにして管理しています。部会で勧められた有機JAS規格の資材も積極的に使うなど、安全、安心なきゅうりの栽培に心掛けています。

——今後の目標を教えてください。

秀品率の向上と、出荷量の安定を目標にしています。面積も少しずつですが拡大したいと考えており、来年は2a増やし、12aの栽培を目指しています。また、来年の秋にはハウスの建設も予定しています。

きゅうり部会には若い人も多く、私たち今後の農業を担う世代に対する期待は大きいです。常により良い方法を模索し、期待に応えられるよう、頑張りたいたいと思います。

——最後にきゅうりのPRをお願いします。

一生懸命手をかけて栽培したきゅうりです。ぜひたくさん食べてください。



きゅうりの収穫

春作きゅうりは神西地区で盛んに栽培されています。1月中旬から2月中旬に種まきをし、2月下旬から3月中旬にハウスに定植を行います。定植する苗は、カボチャときゅうりを接ぎ木したものを使用します。きゅうりはカボチャを台木に接ぎ木することで、ブルームレス（白い粉がふかない）になり、また根の張りが良くなることで病気に強く長く収穫できる株に育ちます。収穫は3月末から始まり、7月まで行われます。収穫したきゅうりは野菜集荷所へ運ばれ、長さ、太さ、曲がりなどの規格に合わせて機械で自動選別されます。その後、地元市場を中心に出荷されます。

きゅうりの栄養

きゅうりは90%以上が水分ですが、カリウムが比較的多く含まれています。その他には、カロテン、ビタミンB群やビタミンCなどが含まれています。きゅうりの水分は暑い季節の喉の渴きを癒やし、体の熱を取ったり、カリウムが利尿効果を発揮してむくみやだるさの解消に役立ちます。また、カリウムには体内に蓄積されたナトリウムを体外に出す働きがあるため、高血圧を予防する働きも期待できます。

これからの暑い季節にぴったりなきゅうりをたくさん食べて、夏を乗り切りましょう。

ここがPOINT

○選ぶポイント○

緑色が濃く、ツヤがあり、トゲがとがっているものが新鮮です。少しくらい曲がっていても味や栄養には影響はありません。

○下ごしらえのポイント○

板ずりといって、洗ってから塩をふってまな板の上で転がすと、色がさえ、特有の青臭さも消えて、味わいが引き立ちます。

きゅうりのおいしいレシピ

きゅうりのインド風天ぷら



〈材料〉[4人分]

- きゅうり ……2本
- 小麦粉 …… 1/2カップ
- サラダ油(揚げ油)
- きなこ …… 1/4カップ
- …………… 適量
- カレー粉 …… 小さじ1/2
- トマトケチャップ …… 適量
- 塩 …… 小さじ1/2
- 卵 …… 1個
- 水 …… 1/4カップ

〈作り方〉

- ①きゅうりは8mm幅の斜め切りにする。
- ②ボウルにAを入れて混ぜ合わせる。
- ③フライパンにサラダ油を深さ1cmほど注ぎ、低温(160℃)に熱する。①に②の衣をつけて揚げ、きれいに色づいたら油をきって器に盛り、トマトケチャップを添えて完成!

きゅうりとタコのキムチ和え



〈材料〉[4人分]

- きゅうり …… 2本
- ゴマ油 …… 小さじ2
- 塩 …… 少々
- 白すりゴマ …… 適量
- ゆでタコ …… 200g
- 砂糖 …… 小さじ1~2
- ニラ …… 1/2束(40g)
- しょうゆ …… 小さじ1~2
- 白菜キムチ …… 100g

〈作り方〉

- ①包丁の背できゅうり全体をたたく(壊れない程度に)。
- ②①に塩をふって、軽く板ずり(上記ここがPOINT参照)をし、5cmの長さに切り、縦に四つ割りにする。
- ③タコは包丁の背で軽くたたき、一口大に切る。ニラは熱湯でさっとゆで、きゅうりと同じ長さに切る。
- ④ボウルにきゅうり、③とキムチ、白すりゴマを合わせて、ゴマ油で和える。味見をしながら砂糖としょうゆで味をととのえ、器に盛って完成!

平成28年度冬期座談会

ご意見・ご要望に
お答えします



平成28年度の冬期座談会を、2月に管内230会場で開催しました。この座談会は組合員の皆様との意思疎通をはかり、意見や要望をJAの事業運営に反映させようと開催しているものです。

今回の座談会では、「農業所得の増大」に主眼を置いた営農情報及びJA事業の各種情報を提供し、営農関係を中心に活発な意見が交わされました。ご意見・ご要望としていただいた中から、一部につきまして正式回答いたします。

営農部門

Q

つや姫の栽培要件の中に30a以上作付けとあるが、理由はなにか。また、自家消費飯米や自家採種はしてもいいか。

A

島根県産つや姫は、安定した販売量と市場評価を早期に確保するため、栽培面積を30a以上としています。この面積要件は、今後も継続する予定ですので、ご理解ください。飯米については、販売数量を確保するためにも、必要最小限でお願いいたします。これは、つや姫の市場評価が高まっているため、引き合いも多くなっているためです。

また、つや姫は山形県が育種した品種のため、山形県と島根県が契約を結び島根県での栽培・販売許可を得ています。この契約では、自家採種並びに種子(苗)の譲渡が規制されています。過去には逮捕者が出た事例も発生していますので、自家採種はしないようにお願いします。

Q 米の1.9mmふるい目の栽培を進めていくという事だが、それに伴う講習会が必要だと思いが。

A 米の1.9mmふるい目の栽培については、土づくりや水管理等の基本技術が必要となります。1.9mmふるい目に必要な土づくり、肥培管理、出穂後の水管理等については、外勤日の折込指導資料での情報提供や青空座談会など適宜栽培講習会のご案内をしますので、参加・実践いただきませうお願いします。

Q 平成30年からの生産調整見直しについて説明して欲しい。転作は無くなるのか。また、今後はどうなる見通しか。

A 平成30年産より行政による生産数量目標の配分に頼らず、国が策定する需給見通し等を踏まえ、農業者、生産団体等が需給に応じた主食用米の生産を行うこととなります。生産調整（転作）の廃止では無く、行政主導から農業者及び生産団体が主体となり、国からの情報をもとに米価の安定を図るために、引き続き生産

調整への取り組みが求められています。

島根県では当面の間、従前とほぼ同様の手法で、島根県農業再生協議会から地域農業再生協議会（市町村単位）へ生産目安を提示し、地域再生協議会はその生産目安に沿って生産調整を実施することになります。

出雲市農業再生協議会（農業者・市・JA等で構成）では、島根県農業再生協議会からの生産目安の達成と需要に応じた米生産を行うため「売れる米づくり」が重要であると考え、実需者の要望数量、農業者の作付要望の把握に努めながら、生産調整の取り組みを行います。

Q 「生産資材価格低減プロジェクト」第1期の対策内容を教えて欲しい。農薬も価格が下がるようにして欲しい。

A このプロジェクトでは、全農による銘柄集約により、一般高度化成を中国四国ブロックで3銘柄に、NK化成を全国1銘柄に絞り込みし、コスト削減を実現しました。また、平成30年産水

稲肥料・農薬については、肥料2品目（水稲一発肥料）、農薬10品目に集約を行い「量」を確保することによる製造コスト・仕入価格の低減を行います。今後も価格メリットを実感していただけるよう、農薬や生産資材を含めた農業生産コストの低減に向けた提案を行います。

生活部門

Q イオンなどの大手スーパーが、野菜等を自社農場や農家と契約栽培を行っているが、ラピタではそうした考えはないのか。

A ラピタでは、特定の個人と個別契約を結んだり、自前で栽培するのではなく、農産物直売会員の皆様から出荷いただいた農産物や、出雲管内の市場流通商品を販売することで、「安全」「安心」「新鮮」な農産物の提供に努めていきたいと考えています。

信用部門

Q 相続が発生すると、故人名義の預貯金は一切出すことが出来ず、葬式費用にも使えない。

必ず起こりうることだが、対処方法はないのか。

A 葬儀費用については、相続人全員の方からの同意があれば、相続手続前でも払出しは可能です。また、相続人の一部の方からの依頼のときは、業者への振込等一定の条件を満たせば払い出し可能な場合もありますので、各支店までご相談ください。

企画・総務部門

Q 29年度から複数正組合員加入運動があるとの事だが、どのような内容なのか。

A 正組合員の減少や高齢化などの問題に対して、次世代への円滑な事業継承のためにも一戸複数正組合員化が必要であると考えています。より多くの方へ協同組合の理解ならびに、JA事業への積極的な運営参加を促すため、正組合員加入促進運動に取り組んでいます。正組合員家族、JA女性部員、直売会会員等を主な対象者とし、平成31年3月までの期間において、出雲地区本部では正組合員13,200人を目標としています。

ほっとで楽しいニュースが満載!

島根ぶどう「デラウェア」 初出荷

J Aしまねは4月19日、J A出雲地区本部荒茅ぶどう集荷所で島根ぶどう「デラウェア」の初出荷式を開催しました。この日は出雲市と益田市の生産者4人が、超早期加温栽培で収穫したデラウェア852kgを出荷。生産者をはじめJ Aや行政の関係者など約150人が出席し、初出荷を祝いました。

出荷式では地元の保育園の園児たちが生産者作曲の歌などを歌ったほか、島根県観光キャラクター「しまねっこ」、島根ワイナリーのマスコットキャラクター「しまりん」も登場し初出荷に華を添えました。式の最後には、出席者全員で万歳三唱し、東海、京阪神、中国、九州方面の各市場へ、ぶどうを乗せたトラックを送り出しました。同J Aの竹下正幸組合長は「高品質なぶどうに仕上がっている。トップセールスで販路拡大に向けPRするなど、行政・J A一体となって島根ぶどうを盛り上げていく」と話しました。

今年度のデラウェアは、暖冬などの要因により発芽にばらつきがある園も一部で見られましたが、実止まりはよく、生育は概ね順調。今回の初出荷でも、糖度が高く粒張りのよい、高品質なデラウェアが出荷されました。今後、出荷量は徐々に増加し、6月上・中旬に最盛期を迎える見込みです。



万歳三唱で初出荷を祝う生産者ら

大きな梨ができますように 園児が梨の授粉体験

J Aしまね神門梨部会は4月20日と21日、出雲市神門地区で市内の園児を対象とした梨の授粉体験をおこないました。授粉体験を通して、同地区の特産品である梨ができる過程を学び、収穫の喜びを感じてもらう目的で開催。今年は市内8つの保育園と1つの幼稚園の園児約260人が体験しました。

授粉作業について説明を受けた園児たちは、グループごとに一人ひとり順番で授粉棒を使い、丁寧に梨の花に花粉をつけました。体験した園児は「上手に花粉がつけられて楽しかった。梨ができるのが楽しみ」と話しました。授粉した梨は夏以降に園児らで収穫する予定です。

同部会の小村靖部会長は「授粉体験や収穫を通じて、地域の特産である神門梨を知ってもらいたいと思います。地元でも神門梨を知らない人もいるので、PRに力を入れていきたいです」と話しました。

同部会は管内9戸、約5ヘクタールで、「幸水」「豊水」「新興」などの品種を栽培。神門梨の認知度向上を図りながら、食農教育や消費者との親睦を深める活動にも積極的に取り組んでいます。園地ごとにオーナー制を取り入れた契約販売は採りたての梨が味わえると人気です。

※神門梨オーナーについてはP.21に掲載しています。



授粉作業を行う園児たち

河村保志さん出品牛「ランドチャンピオン」獲得 島根県初の快挙!

乳用牛(ホルスタイン)の共進会「第32回中国地区ブラックアンドホワイトショウ」が4月2日、岡山県真庭市で開催されました。この共進会は、代表的なホルスタイン種牛を一堂に集め、その体型、資質の改良を比較検討し今後のホルスタインの改良に資するとともに、酪農業の健全な発展に期することを目的として毎年開催されています。

出雲管内から4頭のエントリーがあり、久多見町の河村保志さんが出品した「リバービレッジ MS ロイ サンデー」号が島根県で初のランドチャンピオンに輝きました。

河村さんは「酪農後継者、関係者の皆様のご協力を頂きながら、このようなタイトルを獲得できたことに感謝します。酪農を取り巻く情勢は厳しいですが、酪農家、地域の皆様と共に力を合わせ、地域農業の発展のために頑張りたいと思います」と話しました。



河村保志さんの「リバービレッジ MS ロイ サンデー」号がランドチャンピオンを獲得

養鶏部会総会 福祉会へ卵の贈呈

JAしまね出雲養鶏部会は4月25日、ラピタ本店で養鶏部会定期総会を開きました。

総会では平成28年度の取り組みについて、「食の安全」に向けた飼養衛生管理の向上、鳥インフルエンザ等に対する徹底した防疫対策を行ったことを報告しました。また、飼料用米を使った鶏卵「こめたまご」の普及・販促活動にも積極的に取り組みました。ラピタ各店舗との連携により、ラピタで販売している「ラピタのこめたまご」は、平成28年度、約21万パックの販売実績を挙げることができました。平成29年度は引き続き安全・安心な鶏卵生産に努めるとともに、「こめたまご」の更なるブランド化に努める計画としています。

総会に合わせて、毎年恒例となっている社会福祉法人みどりの郷への卵の贈呈式も行いました。卵はみどりの郷4施設に10キッずつ贈呈します。同部会の福田賢治部会長は「皆さんに安全・安心な卵を食べていただき、これからも元気に過ごしていただきたいと思います」と話しました。



福田部会長(右)からみどりの郷出雲中尾忠正施設長(左)へ卵を贈呈

ぶどう・アスパラガスリースハウス事業 キックオフ大会開催

JAしまね出雲地区本部は4月20日、ラピタ本店で「ぶどう・アスパラガスリースハウス事業キックオフ大会」を開きました。大会には同地区本部役職員、行政関係者、部会員ら35人が参加し、入植者を激励しました。

リースハウス事業は、新たな担い手対策として平成25年度に同地区本部を事業主体として始まりました。平成27年度までの3年間でぶどうハウス34棟を建設、15人が入植しています。平成28年度はぶどうに加えアスパラガスでも事業を開始し、平成29年3月にぶどうリースハウス8棟とアスパラガスリースハウス5棟が完成、新規就農者1人を含む11人が入植します。

初期投資を軽減し、就農や規模拡大をしやすい環境を整備することで、担い手を確保することを目的とした事業で、産地の維持・拡大のため、これからも継続が期待されています。



決意表明をする入植者ら

平田柿団地リース事業 キックオフ大会開催

JAしまね出雲地区本部は4月12日、JA平田中央支店会議室で「JAしまね平田柿団地リース事業キックオフ大会」を開きました。関係者ら約20人が出席し、柿団地の完成を祝うとともに、3人の入植者に激励の言葉を贈りました。

この事業は、平成27年にJAしまね出雲平田柿部会が発表した「ひらたの柿産地活性化プラン」の中で掲げられたものです。柿団地をリースすることで、生産者の初期投資を軽減し、担い手を確保することを目的としています。

JAしまね出雲地区本部を事業実施主体として、行政や同部会と一体となって取り組み、3月22日に柿団地4.75haの造成工事、柿の苗木の植え付けが完了しました。今後は、柿が安定して生産できるようになるまでの5年間、行政とJAで入植者を支援することになっています。

大会の最後には、入植者の小松正嗣さんの発声で出席者全員が「ガンバロー」三唱をし、柿産地のより一層の発展に向け、決意を新たにしました。



「ガンバロー」三唱で決意を新たにしている入植者

出荷迎えたきゅうりをPR JAしまね出雲きゅうり部会

JAしまね出雲きゅうり部会は5月2日、収穫期を迎えた春作きゅうりをPRしようと、ラピタ本店できゅうりの試食販売を行いました。試食用にきゅうりの浅漬けを用意し、部会員らが店頭で安全・安心で新鮮な出雲産きゅうりをPRしました。

JAしまね出雲きゅうり部会の森山操部会長は、「これから出荷のピークを迎えます。夏に向けて、ぜひたくさんきゅうりを食べていただきたいと思います」と話しました。

今年の春作きゅうりは4月12日から共同選果・共同販売を開始。6月上旬に出荷ピークを迎え、7月下旬まで出荷する予定です。平成29年度のきゅうりは、春作・秋作あわせて販売高6,000万円を計画しています。



きゅうりをPRする部会員

菌床生しいたけの美味しさをPR 試食販売開催

JAしまね出雲地区本部は4月25日、同地区本部が運営する生活購買店舗ラピタ本店で「出雲しいたけ」の試食販売を行いました。

試食用には、しいたけのバター焼きを用意し、しいたけの焼ける香ばしい匂いに、多くの来店者が集まりました。試食販売には全国サンマッシュ協議会のマスコットキャラクター「サンマッシュくん」も参加し、店内を盛り上げました。「サンマッシュくん」は平成28年度に同地区本部の業績還元を活用し、JAしまね出雲しいたけ部会が導入。今後も試食販売等で活躍する予定です。

「出雲しいたけ」は同部会員64人が約46万個の菌床で栽培しています。平成27年3月に名称を「神々の国 出雲しいたけ」として商標登録し、ブランド力を強化してきました。肉厚な「出雲しいたけ」は市場からも評価が高く、販売高の増加が望まれています。平成28年度の販売高は約3億5700万円。4億円の突破を目指し努力しています。



試食販売には「サンマッシュくん」が参加

平成29年産米 田植え始まる

JAしまね出雲地区本部管内で4月15日、平成29年産米の田植えが始まりました。

この日は、管内でいち早く伊野地区で田植えが行われ、水を張った田んぼにハナエチゼンの苗がきれいに植えられていきました。田植えを行ったのは伊野地区で25haの田んぼを管理する常松勝広さん。常松さんは「今年は寒く、苗の生育が遅れ気味でしたが、昨年とほぼ同じ時期に植えることができました。今年も消費者の皆さんに喜んでもらえるよう、美味しいお米を作りたいです」と話しました。



管内で田植え始まる

上津地区のアスパラガス 後継者への継承を目指して

上郷営農組合の國谷信夫組合長と國谷祐吉さんが5月1日、JAしまね出雲地区本部を訪れ、「今年もよいアスパラガスができました」とアスパラガスの5kg箱を2箱、JAしまねの萬代宣雄相談役と、同地区本部の石川寿樹本部長に手渡しました。贈呈の際は同地区本部の常勤役員が一堂に会し、アスパラガス生産の今後について話し合いました。

出雲でのアスパラガス栽培は、上津地区で始まり、その後管内各地へ広がっていきましたが、昨今の上津地区では、後継者不足が課題となっています。國谷組合長は「上郷営農組合は水稻中心でやっていますが、総合的な農業振興を目指し、アスパラガス等の栽培計画も立てています」と地域農業活性化に意欲を示しました。



アスパラガス2箱を手渡した

加工用トマトを有機栽培 JAしまね出雲女性部園支部

JAしまね出雲女性部園支部は5月2日、外園町で加工用トマトの苗植えを行いました。これは、同女性部中部地区が平成27年から有機栽培での美味しいトマト作りに取り組んでいることに触発され、園支部でも「やってみたい」との声があがり始められたものです。環境を考える女性の会の会長でもある、同女性部中部地区の錦織文子地区長を講師に招き、3月からぼかし作りや、EM活性液を使った土壌作りなどに取り組んでいました。

この日は錦織地区長の指導のもと、約70本のトマトの苗植えを行ったほか、「トマトの加工品を販売するにはどうしたらよいか」をテーマに勉強会も行いました。同女性部園支部の天野恵美子支部長は「トマトの有機栽培、加工品作りが成功するよう頑張ります。また、この活動を良い仲間づくりの場にしていきたいと思っています」と話しました。



苗を植え終わった女性部員ら

2017

ぶどう狩り
食べ放題
60分



〈通常価格の半額にて〉

特別企画

お食事された方に
島根ぶどう(デラウェア)を
サービス

デラウェアワイン
グレープドリンクなどが
あたる!

抽選会

青空市
テント

6月17日(土) 10:00~17:00

6月18日(日) 10:00~15:00

開催場所 島根ワイナリー

主催/島根県農業協同組合 共催/出雲ぶどう部会・(株)JAアグリ島根 協賛/(株)島根ワイナリー



島根ワイナリー
島根県出雲市大社町菱根264-2

TEL0853-53-5577

<http://www.shimane-winery.jp/>

島根ワイナリー

検索



出雲市岡田町
ながおか とういち
長岡 好市さん (77歳)
のりこ
則子さん (77歳)



岡田町で農業を営む長岡さんご夫婦。145aで水稻栽培を行うほか、約3,500個の菌床でしいたけを栽培しています。好市さんは、以前は水稻栽培を行う傍ら大工仕事もしていましたが、還暦を迎えたころ、大工仕事に代えて菌床しいたけの栽培を始めました。水稻栽培も菌床しいたけ栽培も、則子さんと二人、協力して行っています。

良いしいたけがたくさん取れるよう常に研究し、部会でもサンマッシュ名人に認定されている好市さん。「同じ菌床を使っても、湿度や温度の調整など、手のかけ方次第で出来がまったく違ってきます。やっただけ応えてくれるのでやりがいがあります」と話します。また、菌床しいたけ栽培を始めて人間関係が広がったというお二人。他の生産者のハウスを見に行き情報交換するなど、出雲管内いろいろなところへ行きました。年に1度の全国大会では、各地へ出かけ、他県の実産者とも交流しています。

好市さんが大工仕事で忙しかった頃は、則子さんに農業の負担が大きくなることもありましたが、機械の導入で負担を軽減するなど、お互いを思いやりながら二人で農業をしてきました。健康の秘訣を尋ねると、「ちょうど今、孫がひ孫を連れて手伝いに来てくれています。ひ孫の顔を見ると元気になりますね」と笑顔で話す、ますます元気なお二人です。



Smile

さらりスマイル

松江市内の中学校に学校事務職員として勤務する中島

由貴さん。大学を卒業し、今の仕事に就いて6年目になります。業務内容は、生徒や先生に関する手続きや、学校の財務関係、電話や来客の対応など、多岐にわたります。先生とは違う側面から、生徒の学校生活を支えています。

生徒と直接関わる機会は少ないですが、にぎやかな声を聞いたり、行事などで活躍している姿に元気をもらっているという由貴さん。「すれ違ふと、生徒の皆さんが大きな声であいさつをしてくれて、自分も頑張ろう!という気持ちになります」と話します。来客対応で地域の方や保護者の方などと接する機会も多く、生徒から学んだ元気の良いあいさつと、丁寧な対応を心掛けています。

休日は友達とご飯を食べたり、買い物に行くなどしてリフレッシュするほか、趣味の料理にも精を出しています。由貴さんの作る料理やお菓子を、家族も楽しみにしています。

今後の目標を尋ねると「事務の仕事を通して、生徒や先生方が過ごしやすい学校環境にしていきたいです」と話してくれました。いつも元気をくれる生徒たちの成長をサポートできるよう、より良い環境づくりに努める由貴さんです。

出雲市東林木町

中島

由貴さん(27歳)



4月講座

「わたしも知らない私に出会う! 変身講座」

JALまね出雲地区本部は4月18日、いずもJA女子大学4月講座「わたしも知らない私に出会う! 変身講座」を開きました。フリーヘアメイクアップアーティストの井上智美さん、フォトグラファターの音田孝さん、いずもJA女子大学コーディネーターの白築純さんを講師に招き、女子大学生8名が参加。魅力的なメイクアップ術や写真の撮られ方、コーディネートについて学びました。

井上さんは、女子大学生が普段使っている化粧道具を用いて、化粧水のつけ方から仕上げまでひとりひとりの顔のつくりにあつたメイクを指南しました。

メイクアップ後は、音田さんが綺麗に美しく見える写真の映り方についてレクチャーし、皆で即実践。白築さんがコーディネートした衣装を纏った女子大学生は、ポーズや視線を決め、普段と違う“私”を写真に収めました。

女子大学生は「普段と違う自分を引き出してもらえました。今後、生活の中に取り入れて、学びを活かしていきます」と話しました。



わが家の
アイドル
わが家自慢の
アイドルをご紹介します!



たなか たいち
田中 大智くん(4歳・左)
ひいろ
陽彩ちゃん(2歳・右)

出雲市大社町

優しくて元気いっぱいの大智くん。陽彩ちゃんがお菓子を落としたときには一緒に拾ってあげる、思いやりのあるお兄ちゃんです。妹の気持ちになって考える大智くんは、陽彩ちゃんが泣いていると悲しくなって一緒に泣いてしまうこともあります。好きなものはお魚と野球。お父さんに魚釣りや野球で遊んでもらったのがきっかけです。魚釣りのおもちゃをお父さんと作って、お魚の名前もたくさん覚えしました。将来の夢は、お魚博士とプロ野球選手です。陽彩ちゃんは、お兄ちゃんがお出かけするとき「これもっていかないと」とお世話をあげたりもする、しっかり者の女の子です。口調もお母さんにそっくりです。絵本を読んだり、歌を歌ったり、最近はパズルでも遊んでいるという陽彩ちゃん。20ピースくらいのパズルができるようになりました。

近所のお寺の遊び場で、いつも一緒に遊んでいる大智くん和陽彩ちゃん。素敵な笑顔で家族みんなを元気にしてくれる、仲の良いきょうだいです。

おとうさん、おかあさんからの一言

これからも2人仲良く力を合わせて、
素敵な大人になってね。

私たち「乙立手芸サークル」は、編み物が好きなメンバーが集まって活動しています。指先を使うことは頭にも体にも良いことで、健康づくりに役立っています。8月中旬頃からはふれあいの家出雲「縁」で作品展示も行いますので是非見てください。興味をもたれた方と一緒に活動できれば嬉しく思います。

グループの皆さんからの一言

JAしまね出雲女性部乙立支部の「乙立手芸サークル」は、手芸が好きな仲間たちが集まって、平成20年に発足しました。ぞうり作りをきっかけに始まったサークルですが、現在は毛糸を使った編み物を主に作成しています。現在メンバーは15人。月1回、原則第3火曜日を活動日として、皆でお話をしながら楽しく手芸をしています。作品は、メンバーそれぞれが興味のあるものを選び、編み図という編み方を示した手順図をもとに制作します。今の時期は、夏に使うのを楽しみに、ベストや夏用のセーターなどを作っています。編み方で分からないところは他のメンバーに教えてもらうなど、難しい作品でも協力しあひながら取り組んでいます。また、集まったメン

JAしまね出雲女性部
グループ紹介
乙立支部「乙立手芸サークル」

バーたちといろいろな話をするのも楽しみの一つで、メンバー皆が月1回の活動日を心待ちにしています。

作品は、自分で身につけるだけでなく、地区の文化祭に展示するなどして活動の成果を公表しています。現在は、ラピタ2階、ふれあいの家出雲「縁」へ展示する作品を鋭意制作中。8月中旬頃から1ヶ月程度、乙立手芸サークルの皆さんの作品が展示されることになっています。

乙立店 石橋店長からのメッセージ

「乙立手芸サークル」の皆さんは、活動を始めて10年目になられます。作ってみたい見本を参考に、事務所の会議室で楽しく編み物をされています。物を作り上げる楽しさ、そしてみなさんが集まって楽しくお話ができる雰囲気ですが、長くサークル活動が続いている原動力ではないかと思えます。地区の文化祭、今度の「縁」への展示など作品を披露する機会もあり、張り合いを持って活動されています。今後年代を問わず仲間を増やし、より一層活発なサークルとなることを期待しております。



●今月の「出雲で採れるうまいもん」、アスパラガス・甘味があつてやわらかい地物が大好きです。旬の今は売り場で見つけるたびに買って、いろいろなレシピを楽しんでいます。1日で10cmも伸びると知り、そのエネルギーを自分の中にも取り込みたいと思いました。

JA：女性部の皆さんの活力と団結力にはいつも驚かされます。女性部まつりの活動報告や舞台発表も素晴らしいです。各地区でさまざまな活動をされていますので、JAしまねびよりでもできる限りお伝えしていきたいと思っています。

●女性部まつりが特集されていますね。縁あって今回初めて参加させてもらったのですが、いくつになっても女性部の先輩方のパワーはすごい!!私もそうなりたいと思いました。(浜町J.Sさん)

読者のページ
おたより広場

読者のみなさんからの投稿コーナーです。最近あった「楽しかったこと」「最近思うこと」「感動したこと」…ぜひお聞かせください。写真や絵手紙・イラストも大募集!!

おたより大募集

皆さまからの「おたより」を募集しております。ハガキに、聞いて欲しいこと、日々思うこと、俳句や川柳、絵手紙や写真などのご投稿お待ちしております。(匿名希望の方は明記してください)

〒693-8585
出雲市今市町106番地1
JAしまね出雲地区本部内
「広報誌JAしまねびより」編集係 宛
✉メールでの投稿也大歓迎!
unity@jaizumo.or.jp

JA：小学校へのご入学、おめでとうございます!今月はクロスワードパズルの答えということもあり、ランドセルに関するおはがきをたくさんいただきました。きつと皆さん、楽しい学校生活が待っていると思います。

●4月に孫が1年生になり、ランドセルをプレゼントしました。元気で楽しんで学校に通ってくると嬉しいです。(大社町K.Kさん)

JA：これから暑くなるとビールを飲む機会も増えると思います。「健康散歩」の記事が参考になった方も多かったのではないのでしょうか。正しく飲んで、健康に過ごしたいですね。

●これからビールがおいしい時期ですね!「健康散歩」にいろいろなお酒のポイントが書かれています。飲みすぎには注意ですね。(稲岡町Y.Nさん)

また明日も買おうと思います。(矢野町A.Kさん)

JA：甘くてやわらかいアスパラガス。食卓にアスパラガスを使った料理が並ぶとワクワクしますね。旬の今の時期にたくさん食べましょう!

健康ライフかわら版

「高血圧に注意しよう」

高血圧は、とても身近でよく耳にする病気だと思います。日本人の高血圧の最大の理由は、塩分の摂りすぎです。最近では、若年・中年の男性で、肥満が原因の高血圧も増えてきています。また、飲酒・運動不足も高血圧の原因となり、高血圧は喫煙と並んで、日本人にとって最大の生活習慣病のリスク要因となっています。

◆血圧に関心を持ちましょう!

5月9日～17日は「日本高血圧週間」です。高血圧予防には、まず、自分の血圧値を知ることから始めてみてください。そして、毎日時間を決めて血圧を測り、記録をつけてみましょう。

【血圧の測りかた】

正しい血圧測定の方法は、1～2分安静にしてから、右図のような姿勢で行います。できれば毎日、朝・晩測るようにしましょう。

測定時間は、朝は起床後一時間以内(排泄後)、夜は就寝前に測りましょう。測定した血圧値は、記録しておく健康管理の目安となり、医師の診断の参考にもなります。

血圧が130 / 85mmHg以上は高めと言われています。それ以上の値が続く場合は早めに医療機関を受診しましょう。

また、その値に近い場合は注意が必要です。



高血圧の診断基準 (単位:mmHg)

血圧には健診や医療機関で測る「診察室血圧」と自宅で測る「家庭血圧」があり、高血圧の診断では「家庭血圧」が優先されます。

家庭血圧		判定	診察室血圧		
収縮期(最高) / 拡張期(最低)			収縮期(最高) / 拡張期(最低)		
135	かつ / または	85	140	かつ / または	90
以上		以上	以上		以上

(高血圧治療ガイドライン2014を参照)

★ポイント

- ①日頃の血圧(家庭血圧)を知ろう
- ②ちょっとでも高い血圧は医師に相談しよう
- ③職場で血圧測定や記録ができる環境づくりをすすめよう

お問合せ先 出雲保健所 健康増進課 TEL 21-8785

出雲市特産

神門梨オーナー募集



JＡしまね神門梨部会では、オーナー制による梨の契約販売を行っています。

是非、ご家族でご来園頂き、収穫の喜びを体感してみてください。そして安全・安心、もぎたての美味しい神門梨を是非ご賞味ください。

申込方法

JＡしまね出雲地区本部各支店設置の申込書にご記入のうえ、代金をそえて申し込みをお願いします。
○5月末までの受付は5%割引いたします。
※ご入金確認後、受付となります。

収 穫 時 期				
8月	9月	10月	11月~12月	
幸水	二十世紀(瑞秋) 豊水・新星	南水	新興 新高	新雪・晩三吉 あたご・王秋

お問い合わせ先

JＡしまね出雲地区本部河南営農センター

TEL 0853-43-7007

FAX 0853-43-3516

俳句の広場

選者

安食 彰彦先生

◆月間最優秀賞

しやぼん玉稚児を映して回りけり

大津町 稲田隆嗣

選者評

シャボン玉は虹色の気泡が空中に浮遊する遊びで、若い夫婦と子どもとのどかで和やかな家庭の風景が感じられます。

◆月間優秀賞

花吹雪屋台に並ぶ串ダンゴ

荒茅町 川上治利

春昼の預かりし嬰重きかな

古志町 三谷誠司

宇宙へとたんぱの絮飛び立てり

所原町 星野和子

あなたの俳句を募集します

◆応募方法

俳句、住所、氏名、年齢、電話番号を記入の上、ハガキまたはFAXで応募ください。
※お一人様3句まで応募いただけます。
※5月応募分の締め切りは5/31(水)です。

◆あて先

〒693-1858

出雲市今市町106-1

JＡしまね出雲地区本部「俳句の広場」係
(FAX: 21-6249)

※応募作品は自作で未発表のものに限ります。
※応募作品の一切の権利は、JＡしまね出雲地区本部に帰属するものとします。
※月間最優秀賞にはUFJニコス券3,000円分、月間優秀賞にはUFJニコス券1,000円分を進呈いたします。
※受賞作品については地区名、氏名(または俳号)を掲載します。

活動紹介

JＡいずも句会

JＡいずも句会は、女性部で俳句の好きな皆さんが集まり、平成14年に活動を始めました。月1回、ふれあいの家「縁」の研修室で渡部美知子先生を講師に俳句の勉強をしています。

竹田代表より一言

1ヶ月に1回のこの集まりを皆楽しんでいただいています。上達するのも大切なことですが、楽しいのが一番です。和気あいあいと、いい雰囲気です。活動しています。





平成29年度 組合員健康診断のお知らせ

各種健康診断は、原則事前予約が必要です。オプション検査の内容や料金、お申込み方法については、広報誌JAしまねびより折り込みにてお知らせしますのでご確認下さい。

【健康診断実施日程】 ※同日に出雲市がん検診を受診される方は、市への申込みが必要です。

地区	実施日	オプション検査						同時実施
		ペプシノゲン (PG)	前立腺 (PSA)	甲状腺 (TSH)	骨粗鬆症	動脈硬化	腹部エコー	※がん検診
平田	7月13日(木)	○	○	○	○	○	○	肺がん
長浜	9月28日(木)	○	○	○	○	○	○	乳がん 肺がん
大社	10月12日(木)	○	○	○	○	○	○	—
出雲	10月26日(木)	○	○	○	○	○	○	肺がん
	10月27日(金)	○	○	○	○	○	○	—
佐田	11月 9日(木)	○	○	○	○	○	○	—
平田	12月 7日(木)	○	○	○	○	○	○	—

※腹部エコー検査・動脈硬化検査は、毎年受診希望者が多いため、健康診断日とは別にオプション検査の実施日を設けております。

【巡回人間ドック実施日程】 ※同日に出雲市がん検診を受診される方は、市への申込みが必要です。

地区	実施日	※同時実施検査(出雲市がん検診)	
		乳がん(マンモ)検診	肺がん(CT)検診
佐田	7月 4日(火)	○	○
出雲	8月22日(火)	—	○
	8月23日(水)	—	○
	8月24日(木)	—	—
	8月25日(金)	○	—
大社	9月12日(火)	—	○
	9月13日(水)	○	—
平田	11月15日(水)	—	○
	11月16日(木)	○	—
湖陵	12月 8日(金)	—	—

健康診断より詳しい検査があり、検査時間も約1時間ですので、ほとんどお待ちいただくことなく受診できます。また、受診忘れがありませんので大変安心です。お住まいの地区の実施日でご都合がつかない場合は、他地区でも受診できます。その際のお申込みは、ふれあい福祉課までお願いします。

※出雲市がん検診はJAでの申込みができません。
がん検診相談ダイヤル(21-6651)までお問い合わせください。

ご不明な点などありましたら、お気軽にお問い合わせください。

JAしまね出雲地区本部 企画総務部 ふれあい福祉課
TEL: 0853-21-6013





出雲市農政会議だより

平成29年5月20日

No.69

発行元：出雲市農政会議(出雲市今市町106番地1 JAしまね出雲地区本部 営農企画課内)
発行責任者：事務局長 原田 透

【活動内容報告】

○第44回島根県農政会議通常総会ならびに第41回島根県農業者政治連盟通常総会

4月27日(水)第44回島根県農政会議通常総会ならびに第41回島根県農業者政治連盟通常総会が松江市のホテル白鳥で開催され、出雲市農政会議からは80名の代議員の皆様が出席されました。

冒頭、島根県農政会議の石倉茂美会長より、昨年の参議院選挙の結果報告がありました。また、「TPPIに代わる日米FTAなど農業・農村に大打撃を与える交渉の可能性や規制改革推進会議による農協攻撃など、農業者を取り巻く環境は厳しさを増している」と話されました。

議事に入り役員選任において、島根県農政会議会長には石倉茂美氏、島根県農業者政治連盟委員長には出雲市農政会議福間会長が、それぞれ再任されました。



出雲地区本部理事会報告

4月25日に開催された出雲地区本部理事会の中で協議された主な議題と内容は次の通りです。

〈協議事項〉

- (1)大口貸出金の承認について
- (2)フレコン集荷に係わる経費の新設について
- (3)地鶏生産に係わる堆肥センター草地の活用について
- (4)大口貸出先条件変更の承認について
- (5)平成29年度事業取扱計画および総合収支計画について

平成29年度事業計画を策定し、今後各事業を行ってまいりますので、組合員の皆様のご協力とご利用をお願いします。

〈報告事項〉

- (1)平成29年度共済事業推進要領について
- (2)平成28年度冬期座談会の意見・質問と回答について
主な意見・質問については、今月の広報誌に掲載していますのでご覧ください。
- (3)平成29年3月末事業実績について
- (4)平成29年度「いずも食材の日」について
地産地消の推進のため、毎月第3金・土・日曜日を「いずも食材の日」と定め、食農体験ツアー・店頭販売・料理教室・試食・販売促進など積極的に展開していきます。
詳しくは、ふれあい福祉課(☎21-6013)までお問い合わせください。

理事会情報 (3月29日開催)

- 協議事項**
- ① 平成29年度県域品目販売手数料について
 - ② 平成28年度JAしまね農業振興支援事業最終申請(第6回(3月))について
 - ③ 平成29年度補助事業の実施計画について
 - ④ 農業ICTの取り組みについて
 - ⑤ 平成27年度産高根米共同計算収支の概況について
 - ⑥ 平成27年度産飼料用米の最終精算について
 - ⑦ 平成28年度産備蓄米の最終精算について
 - ⑧ 平成28年度産高根米「買取制度」中間総括について
 - ⑨ 平成28年度産高根米買取販売における収益および費用の配賦方法ならびに配賦率について
 - ⑩ 雲南畜産総合センターの12月末実績報告と運営計画の見直しについて
 - ⑪ 県央地区畜産総合センター運営規程の制定について
 - ⑫ 全農農業経営規程設置に係るJAしまね総代会決議(特別決議)について
 - ⑬ 葬祭具利用料の変更および葬祭具利用管理規程の一部改正について
 - ⑭ 平成29年度余剰金運用について
 - ⑮ 平成29年度第1四半期の余剰金運用計画額および運用方針について
 - ⑯ 自動車損害調査体制の再構築にかかる対応方針について
 - ⑰ 組合と理事との取引(契約)の承認について
 - ⑱ 平成29年度における各種限度額について
 - ⑲ 平成29年度コンプライアンス・プログラムについて
 - ⑳ 平成29年度個人情報保護計画について
 - ㉑ JA全国監査機構による期中改善指示事項(期中監査)に対する回答について
 - ㉒ 機構改革によるリスク管理基本方針等の改正について
 - ㉓ 平成29年度事業収支計画について
 - ㉔ 高根農中央酪農農業協同組合連合会の株式会社化に伴う全農保有株式の譲受について
 - ㉕ 平成28年度下期分出口数の減少(減口)の承認について
 - ㉖ 組合員の加入時における出資基準にかかる整理について
 - ㉗ JA運営への女性参画にかかる女性総代拡大的取り組みについて
 - ㉘ 平成29年度地区本部総代説明会の開催について
 - ㉙ JAしまね福祉事業に関する運営規程の一部改正について
- 報告事項**
- ① 平成29年度島根県農業政策および予算に関する要望書への県回答について
 - ② 高根農林水産部とJAグループ島根との意見交換会の報告
 - ③ 平成29年度地域品目販売手数料について
 - ④ 「農業戦略実践3カ年営農計画」の実現に向けた進捗管理方法について
 - ⑤ 平成28年度産高根米米評懇談会時における意見・要望等について
 - ⑥ 米穀園芸情勢について
 - ⑦ 加工原料乳補給金制度改革をめぐる直近の情勢と今後の取り組みについて
 - ⑧ 畜産情勢について
 - ⑨ 出雲地区本部の葬祭会館開設について
 - ⑩ 平成29年度共済新契約目標について
 - ⑪ 平成28年度認定反社会的勢力の定期報告について
 - ⑫ 事務ミス報告について
 - ⑬ 平成29年2月末月次決算報告について
 - ⑭ Aコープでの総合ポイント付与基準の変更について
 - ⑮ 「JAしまねの運営にかかる調査・研究・検討」のすすめ方と体制の考え方について
 - ⑯ T P P運動の総括について
 - ⑰ 平成29年度主な会議日程について
 - ⑱ 役員報酬審議会の協議状況について
 - ⑲ 労働組合からの春闘・年度末一時金要求書の提出について
 - ⑳ 平成29年3月1日付け本店人事異動について
 - ㉑ 平成29年度監事監査計画について
 - ㉒ その他(女性理事活動報告)

知って納得JA

—協同組合の力—

Q 「協同組合」がユネスコ「無形文化遺産」に登録されたのはなぜ?

A 協同組合の精神とその実践が認められたからです。

協同組合は、より良い暮らしの実現のために組合員が結集することで成り立つ組織です。現在、世界100カ国以上で10億人、日本では約6,500万人がJAや漁業協同組合(JF)、生活協同組合(生協)などの協同組合に結集し、社会の発展に大きな役割を果たしています。

「協同組合において共通の理念を形にするという思想と実践」が国際連合教育科学文化機関(ユネスコ)に認められ2016年11月、無形文化遺産に登録されました。これは、世界的に評価されたのと同時に、その思想と実践を次世代に引き継ぐ必要があることを意味します。組合員一人一人が協同組合の価値を再認識し、力を合わせて活動を続けていくことが欠かせません。(監修=広島大学 助教 小林元)

日本の協同組合

約 **6,500** 万人

組合員数*

事業高

約 **16** 兆円

店舗・施設

約 **35,600** カ所

世界の協同組合

組合員数

事業高*

約 **10** 億人

約 **292** 兆円

IYC記念全国協議会資料より

*1 一人の組合員が複数の協同組合に加入している場合は、その数を計上しています。

*2 1ドル=115.15円で換算(2017年1月20日)

IYC記念全国協議会

ホームページはこちら ▶▶▶



耕そう、大地と地域のみらい。



JALしまね

あなたのスマホも



格安スマホに

お申し込みはJALしまねのホームページから

JALしまね スマホ

検索



<http://ja-shimane.jp/smartphone/>

さらに今なら
5/31(水)
までに

JALしまねホームページよりOCN契約番号を教えてください方全員に

おさいふカード
ポイント

3,000ポイントプレゼント!!



ご質問
お問合せ

生活事業部 店舗生活課

☎0853-25-8907

・くまがや地区本部
生活福祉部 生活総合課
☎0852-55-3040

・やすぎ地区本部 生活燃料課

☎0854-28-7200

・岡崎地区本部 経済部

☎08512-2-1133

・隠岐どうぜん地区本部 経済部

☎08514-7-8005

・出雲地区本部
生活部生活用品課

☎0853-21-6058

・斐川地区本部 生活部 生活課

☎0853-73-9622

・石見銀山地区本部 生活典礼課

☎0854-84-9071

・島根おおち地区本部
生活部 総合生活課

☎0855-95-3601

・いわみ中央地区本部
営農経済部 経済企画課

☎0855-22-8823

・西いわみ地区本部
営農経済部 経済課

☎0856-23-0933

・有限会社 サンコープ雲南
生活課

☎0854-45-3336

出会いの
きっかけに



しまね
縁結び
サポートセンター

はぴこ・しまね縁結びサポートセンター

へご相談ください

結婚を考えている方へ

「今まで出会いがなくて・・・」「真剣に結婚を考えてみようかな・・・」そんなあなたに無料で相談に応じます。結婚したい気持ちはあっても、いざ婚活となると何からはじめていいのか分からなかったり、どこに相談すればいいのかわからない人はとても多いのでは。まずは、お気軽に「はぴこ」に相談してみませんか？

はぴことは？

「はぴこ」とは、一般社団法人しまね縁結びサポートセンターに登録された、結婚を望む独身男女の縁結びを応援するボランティアです。（正式名称「島根はぴこーでいねーたー」）結婚を望む独身男女の相談に応じ、出会いのきっかけづくりをします。

はぴこ交流サロンとは？

はぴこ交流サロンは、縁結びボランティア「はぴこ」が開催する無料の結婚相談会です。

松江センター

〒690-0887
島根県松江市殿町8-3
タウンプラザしまね2F
☎0852-61-1150

浜田センター

〒697-0016
島根県浜田市野原町1826-1
いわみーる2F
☎0855-25-1150

はぴこによる結婚相談会

- 安来** 日時/毎月第2日曜日 10:00~12:00 場所/カフェ・ローチ
問い合わせ▶安来市定住企画課 ☎0854・23・3059
- 松江** 日時/毎月第3日曜日 10:00~12:00 場所/サンラポーむらくも
問い合わせ▶金崎 ☎080・1648・6053
- 雲南** 日時/毎月第4土曜日 10:00~13:00 場所/Aコープますき2階会議室
問い合わせ▶福岡 ☎0854・43・3687
- 奥出雲** 日時/毎月第2日曜日 10:00~12:00
場所/雲州そろばん伝統産業会館(奇数月)、奥出雲町社協仁多事務所(偶数月)
日時/毎月第2火曜日 13:30~15:30 場所/奥出雲町社協仁多事務所
問い合わせ▶渡部 ☎080・2882・3307
- 出雲** 日時/毎月第2土曜日 9:30~12:30
場所/出雲市男女共同参画センター(くすのきプラザ)
問い合わせ▶出雲はぴこ事務局 ☎080・2887・3865 (10~18時)
- 大田** 日時/毎月第2金曜日 19:00~21:00 場所/大田商工会議所
問い合わせ▶大田はぴこ事務局 ☎080・2940・7266 (10~18時)
- 江津** 日時/毎月第2水曜日 19:00~21:00 場所/じばさんセンターcafé楼co..
日時/毎月第4土曜日 15:00~17:00 場所/パレットこうつ
問い合わせ▶盆子原 ☎090・4144・9780
- 浜田** 日時/毎月第4金曜日 18:00~20:00 場所/浜田公民館
問い合わせ▶岡本 ☎0855・23・1430 ★事前予約が必要です
- 益田** 日時/毎月第2土曜日 10:00~12:00、19:00~20:00
場所/EAGA2階会議室
問い合わせ▶金本 ☎090・7542・7554 ★事前予約が必要です

※日時や会場は変更になる場合があります。はぴこのサポートを申し込む場合は、運転免許証等ご本人と住所が確認できるものと、写真(上半身、全身各1枚)をお持ちください。

ラピタ本店生活用品課より

シロアリ警報!5月は羽アリが多発!!



無料



お宅は大丈夫ですか?

シロアリ来襲

初夏は羽アリが出る季節。気付かないうちに住みついているかも。早めの防除があなたの家を守ります。

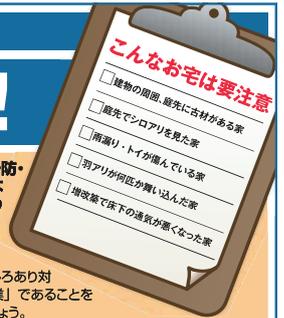
シロアリの予防・駆除は確かな実績と安心のJAへご相談下さい。

シロアリ防除は「(公社)日本しろあり対策協会登録企業」であることを必ず確認しましょう。

JAのシロアリ予防・駆除は安心です。毎年莫大な量の木材が、シロアリや木材腐朽菌によって失われております。JAとして、組合員の皆様の住まいの耐用年数を延ばし、住まいを守る天災対策として、シロアリおよび腐朽被害対策を行っております。

環境に適合した薬を使用
(公社)日本しろあり対策協会で効力・安全性の審査に合格した認定薬剤を使用しています。

資格者(プロ)による施工
(公社)日本しろあり対策協会の施工仕様にのっとり「しろあり防除施工士」が施工しています。



取扱業者

株式会社 **コダマサイエンス**

(公社)日本しろあり対策協会正会員
会員番号 鳥根県 002
会員番号 鳥取県 002

(本社)〒690-0048 鳥根県松江市西嫁島 2丁目 8-23

フリーコール **0120-085266** FAX (0852)43-0866

JA全農基本契約業者「株児玉商會」特約施工店

■松江営業所 TEL0852-26-6757

■各営業所/江津・益田・峰崎・鳥取・倉吉・米子・広島

<http://www.kodama-s.co.jp/>

床下の無料調査(シロアリ駆除・防除等)に伺います。

床下の無料調査をご希望の方には、JAしまね取扱業者(株)コダマサイエンスの地区担当者が訪問しますので、よろしくお願い致します。



内田 英治

児玉 光

桑原 強

平田 一樹

お問い合わせ先

JAしまね

出雲地区本部

ラピタ本店生活用品課

出雲市今市町 87

TEL:21-6083

6月は食育月間です!

「ぶどう狩り」 に行こう!

抽選で20組(40名様)ご招待!



実施日

6月11日(日)

午前中で終了予定
大社方面のぶどう園場

応募期間

5月20日(土)~

5月30日(火)まで

応募方法

上記期間中にラピタにておさいふカードを提示してお買物して頂き、2,000円以上のレシート(複数枚でも可)を店内備付の応募箱へ投函下さい。

参加対象

小学生以下のお子様と保護者の2名1組
※バスの座席上2名1組でのご参加となります。
※厳正なる抽選の上、ご当選者には封書又はハガキにて通知致します。

【お問合せ】ラピタ本店店舗企画課 TEL.0853-21-6066

ラピタ ビアガーデン

新企画



プレミアム
フライデー

PM3:30~PM5:00までに入場された方は、
入場料 **1,500円** 時間制限あり
(入場より2時間)

※予約状況によっては延長料金1,000円(成人のみ、未成年は延長料金無料)で
時間無制限に変更できます。※他のキャンペーンとは併用できません。

開催日 **4/28金・5/26金・6/30金
7/28金・8/25金・9/29金**

ご予約承ります

毎日営業致します!!

営業期間

4/14金 ▶ 9/30土

営業時間 / PM5:30~PM9:00まで

会場 **ラピタ本店屋上**



7:30 AFTER-730 券
TICKET AFTER 730 TICKET
当日券 **2,000円**
4/16日~9/28日 日・水のみご利用できます。
PM7:30~PM9:00 (当日券のみ販売となります。)

毎週、金・土・祝日限定
(アフター730対象日以外)
2,000円
入場券抽選会
2,000YEN TICKET
各日25名様にプレゼント!!

4/15日~9/30日 要予約
利用料 通常 **+1,500円**で
お一人様 料金 **+1,500円**で
貸切個室がご利用いただけます!
15名様から最大26名様まで 焼肉付

うれしい低価格!!		中学生から20歳未満	2,000円
通常料金		小学生	1,500円
男性	3,300円	幼児 (3歳~6歳)	500円
女性	2,800円		



地域とともに

ご予約・お問合せフロント (お問合せ時間 AM9:30~PM8:00)

TEL:0853-21-6063

ご予約承ります

5名様以上

※満席時はお断りする場合がございます。
お早めにお申し込み下さい。
※雨天時は屋根付ビアガーデン(約200名収容)をご利用ください。

※表示価格は全て税別となります。※満席時、雨天の場合は入場を制限させていただく場合がございます。※混雑を土となる要天候等により中止する場合がございます。
※20歳未満のお客様の飲酒はお断り致します。※飲酒後のお車の運転はご遠慮願います。又、飲酒運転の車両は同乗する事も法律で禁止されています。※20歳未満の方は保護者または監督者同伴にてご入場ください。

期間限定販売

割引券

5月31日まで
ラピタ本店1Fサービスカウンター及び
3Fプライタル事務所

9月30日までご利用いただけます

※割引券について...返品・換金は出来ませんので予めご了承ください。

男性

3,100円

女性

2,600円

グリーンアスパラサラダ



春先しか食べられないアスパラガスのきれいな緑が引き立つように赤や黄色を色よく取り入れた春らしいサラダです。アスパラの甘味が口いっぱい広がります。

●材料（4人分）

グリーンアスパラ……………2束	コブドレッシング
鶏むね肉……………1/2枚	マヨネーズ……………大さじ2
プチトマト……………8個	トマトケチャップ…小さじ1
パプリカ……………1/4個	ピーナッツバター…小さじ2
レタス……………3枚	(チリペッパー ……少々)
	コショウ……………少々

●作り方

- ①アスパラガスは、はかまを取って根元を切り、3～4等分に切ってラップをしてレンジで1分加熱する。
- ②鶏むね肉は、軽く塩、こしょうしてラップに包みレンジで6分加熱する。
- ③ミニトマトは1/4に切る。
- ④パプリカは細い千切りにする。レタスは手でちぎる。
- ⑤材料をすべて混ぜ合わせ皿に盛る。
- ⑥ドレッシングの材料を混ぜ合わせ食べる直前に⑤にかける。チリペッパーはお好みでどうぞ。（少し辛くなります）

新ジャガイモのピリ辛揚げ



春先に出荷の新じゃがいもは、水分が多いのでみずみずしく皮が食べられます。水っぽいのだからりと揚げ、味付けはしっかりつけるとおいしいので豆板醤を使いピリ辛な中華風にしています。

●材料（4人分）

新じゃがいも（小）……12個	しょうゆ……大さじ1と1/2
ブロッコリー……………1/6株	砂糖……………大さじ2/3
揚げ油……………適量	豆板醤……………小さじ1
	白すりごま……………大さじ2～3

●作り方

- ①ボールに調味料を入れ混ぜる。
- ②ブロッコリーは小房に切り、さっとゆでザルにあげる。
- ③じゃがいもはよく洗い水気をふき、中温でじゃがいもをゆっくり揚げる。
- ④じゃがいもに火が通ったら熱いうちに調味料の中に入れ味をからめる。
- ⑤ブロッコリーも入れさっと混ぜ合わせる。



表紙紹介

表紙のイラストは野々村 直通（ののむらなおみち）先生に描いていただいています。

今月の表紙は、江津市桜江町を流れる江の川を泳ぐ鯉のぼりです。こどもの日が近づく、150匹余りの色とりどりの鯉が春のさわやかな風を受けながら泳ぎだします。また、毎年5月5日に同地域で行われる川戸水神祭りは約500年の伝統がある神事で、神輿を乗せた川船が鯉のぼりの泳ぐ大岩あたりまでパレードします。

編集後記

野々村先生に描いて頂いた今月の表紙イラストを見て、私が子供の頃、祖父が鯉のぼりを上げてくれていたのを懐かしく思い出しました。そんな私も今月で2回目の成人式を迎えました。年月が経つのは早いものですね。（藤）

【今月の表紙の原画】

レイアウトの都合により表紙のイラストは原画の一部表示となっています。原画の全体は次のとおりです。

